

協働のまちづくりの拠点施設の建設  
市民の運動機能を維持向上し、健康増進を図るとともに、スポーツを通じて市民活動を推進するため、26年8月の完成を目指して市民活動センター「レクリエーション館」を建設します。

**市民活動センター（レクリエーション館）の建設**  
17億5868万7000円  
市民活動推進課



### IV 誰もがいきいきと暮らせるまち

多様化する市民ニーズへの対応、バリアフリー化の推進などを目指し、コミセンの大規模改修を計画的に実施します。25年度は、上今泉コミセンの改修工事を実施します。

**コミュニティセンターの計画的な大規模改修**  
2億4379万5000円  
地域自治推進課

**（仮称）えびな市民大学 創設準備**  
523万円  
市民活動推進課  
まちづくりを担う新たな人材育成  
市政に幅広く提言・意見を発信する人材や、生涯学習を通じて地域で活躍する人材など、まちづくりを担う人材の育成と活動支援を行うため、市民活動センター「レクリエーション館」に、えびな市民大学の開校を目指します。  
なお、25年度はプレ開校として講座を実施します。

高齢者の社会参加と生きがいづくり、ボランティア活動を通じた介護予防  
高年齢者の社会参加と生きがいづくり、ボランティア活動を通じた介護予防を目的とし、高齢者が介護施設などで行う社会貢献活動に応じてポイントを獲得できる、介護ボランティアポイント制度を創設します。獲得したポイントは、特産品などと交換できるものとして、（介護保険事業特別会計で実施）。

**介護ボランティアポイント制度の創設**  
158万6000円  
高齢介護課

**予防接種事業の充実**  
3億2322万8000円  
健康づくり課  
重症化の予防に向けて  
肺炎球菌による肺炎の発症は高齢になるほど高くなることから、25年度は新たに高齢者肺炎球菌ワクチン接種を実施します。また、伝染性疾患が地域でまん延しないよう、予防接種実施のより一層の勧奨に努めます。

健康推進に向けた歩道整備計画  
横須賀水道路の歩道整備を行います。

**「ウォーキング・ラン・タウンえびな」の事業開始**  
2200万円  
道路整備課

**介護老人福祉施設建設に対する助成**  
5472万円  
高齢介護課  
介護老人福祉施設の充実  
市高齢者保健福祉計画の目標達成のため、市内の社会福祉法人が行う120床の施設整備に対して支援を行います。

**わかば会館の大規模改修**  
1333万5000円  
障がい福祉課  
障がい福祉の拠点整備  
老朽化が進むわかば会館について、障がい福祉の拠点にふさわしい機能を有する施設として整備するため、改修に向けた設計を実施します。

災害時における生活必需品や防災資機材などを備蓄し、迅速かつ効果的な防災体制を構築するため、市内3カ所目の大型防災備蓄倉庫を南部地区に建設し、供用を開始します（25年3月補正予算計上）。

**災害時防災資機材などの備蓄 倉庫の建設**  
1億222万1000円  
危機管理課



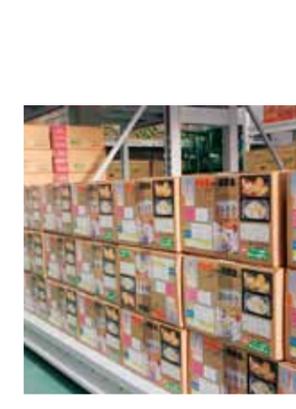
### III 災害に強いまち

災害時における非常食の安定確保  
神縄・国府津・松田断層帯地震における、市内の避難者および帰宅困難者数を想定した食糧を確保するため、30万食を備蓄しています。25年度以降は、30万食を備蓄し続けるため、非常食を順次更新していきます。

**災害時備蓄物品の充実**  
3626万1000円  
危機管理課

災害時における飲料水の安定確保  
大規模災害時に飲料水を確保するため、災害時に拠点となるわかば会館に飲料水兼用貯水槽を設置します。また、飲料水兼用貯水槽が設置されていない避難所に地下水膜ろ過システムを試行的に設置し、効果の検証を行います。  
なお、平常時は水道水と併用して利用できることから、水道料金の削減効果も併せて検証します（飲料水兼用貯水槽設置については25年3月補正予算計上）。

**避難所給水設備の整備**  
1億5798万3000円  
危機管理課



**災害時物資搬送の円滑化に向けて**  
災害時に各避難所へ飲料水や各種備蓄物品を円滑に搬送するため、市民の協力のもとで貨物車両の提供を行う「災害協力車両登録制度」を創設します。

**災害時協力車両登録制度の創設**  
13万7000円  
危機管理課

大災害に備えた訓練の実施  
大規模災害に備え、多数の傷病者が発生した際の救命順序を決めるため、トリアージ（※3）訓練を市民、市医師会、病院などと連携して実施します。なお、訓練結果によりマニュアルなどの改定をします。

**大規模トリアージ訓練の実施**  
300万円  
健康づくり課

消防指令業務の共同運用  
海老名市、座間市および綾瀬市の3市の人口、34万人の119番通報を共同運用することで、3市の消防・救急活動の迅速かつ的確な相互応援体制を構築するため、共同指令センターの建設に引き続き取り組みます。  
25年度は、高機能消防指令システム整備と消防救急デジタル無線活動波整備に取り組みます。

**3市消防指令センターの建設**  
4億3697万円  
消防総務課

※3 トリアージ…負傷者を重症度・緊急度などによって分類し、治療の優先度を決定すること